

=====
地域循環共生圏メールマガジン Vol. 35

[2021. 12. 10]

- 『第 8 回 寺子屋ローカル SDGs』 来週 12/13 開講！！テーマはサーキュラーエコノミー
- 『第 9 回 寺子屋ローカル SDGs』 開講のご案内～テーマは地域の多様な主体を繋ぐ調整役の役割～
- 地域循環共生圏・なうっ！
- 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）の公募について
- 2021 年度 第 2 回ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」の開催について
- 連続セミナー＜第 3 回＞ 国・金融機関による地方創生の取組

- =====
■ 『第 8 回 寺子屋ローカル SDGs』 来週 12/13 開講！！テーマはサーキュラーエコノミー

第 8 回寺子屋ローカル SDGs を 12 月 13 日（月）18:00～開催します！

近年、大量生産・大量消費・大量廃棄を基本とした従来の線形経済に代わり、資源の効率的・循環的な利用を通して環境と経済の両立を目指す「サーキュラーエコノミー(CE)」が注目されています。

第 8 回「学び編」では、黒川温泉旅館組合の北山元さんを先生としてお招きし、CE の具体的事例として黒川温泉の堆肥事業についてお話いただきます。食品残渣のコンポスト化に取り組むきっかけ、地域全体を巻き込むためのプロセス、今後の課題や新たな挑戦について知ることで、地域における CE 推進のイメージを深めましょう。

特に、CE について具体的な取組みが知りたいという方や、廃棄物に新たな価値を見出し、地域の活性化につなげていきたいと考えている方に向けたヒントがたくさん得られる場となっております。サステナアワード 2020 を受賞した堆肥事業「黒川温泉一帯地域コンポストプロジェクト」について北山さんのお話を伺い、質問・交流できるこの機会はとて貴重です！ぜひご参加ください！

【日 時】令和 3 年 12 月 13 日（月）18:00～19:00

（終了後も質問等で最大延長 19:30 まで予定しております）

【場 所】オンライン開催（Zoom 使用予定）

【登壇者】黒川温泉旅館組合 北山 元さん

【定 員】50 名（予定）

【プログラム】

- ①講義等「サーキュラーエコノミーで地域の力を高める～黒川温泉の堆肥事業の事例から～」
- ②質疑応答
- ③ネットワーキング（任意参加）

【参加費】 無料

【申 込】 <https://forms.gle/nUw4dvRAjPjcSdr39>

（氏名、ご所属、メールアドレスを専用フォームにご記入ください。フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。E-mail : touroku@chiikijunkan.jp）

■『第9回 寺子屋ローカル SDGs』開講のご案内～テーマは地域の多様な主体を繋ぐ調整役の役割～

先日号外でもご紹介しましたが、『寺子屋ローカル SDGs』第9回の開催について改めてご案内いたします。！

<第9回 寺子屋ローカル SDGs 学び編>

「多様な主体を繋ぐ調整役～地域循環共生圏を実現するためには～」

【日 時】 令和3年12月21日（火）18:00～19:00

（終了後も質問等で最大延長19:30まで予定しております）

【場 所】 オンライン開催（Zoom使用予定）

【登壇者】 かみかつ茅葺き学校 坂本 真理子さん

【定 員】 50名（予定）

【プログラム】

- ①かみかつ茅葺き学校 坂本さんより
（多様な主体を繋ぐ調整役～地域循環共生圏を実現するためには～）
- ②環境省環境計画課 加藤より
（令和4年度地域循環共生圏共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体への応募について）
- ③質疑応答
- ④ネットワーキング（任意参加）

【参加費】 無料

【申 込】 <https://forms.gle/Q6dozyAapGALkQUk7>

（氏名、ご所属、メールアドレスを専用フォームにご記入ください。フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。E-mail :

touroku@chiikijunkan.jp)

=====

■ 地域循環共生圏・なうっ！

(1) 【実践地域等登録制度】新しい仲間が増えました

現在、101 団体にご登録いただいております。

メルマガ 34 号より新たに 2 団体が実践地域として登録されました。(令和 3 年 12 月 3 日時点)

- ・ 飯島町 (長野県上伊那郡飯島町)
- ・ 一般社団法人里山生物多様性プロジェクト (鳥取県西伯郡南部町)

各団体の抱える課題や活用できる資源など、各団体の情報は下記ページにて紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://chiikijunkan.env.go.jp/tsunagaru/>

(2) 【企業等登録制度】登録企業等が増えました

現在、139 団体にご登録いただいております。

脱炭素、農林水産業・地場産品、防災脱など、前回配信時より新たに 1 事業者が登録されました。(令和 3 年 12 月 6 日時点)

□ 株式会社那賀ウッド

登録事業者は下記ページにて紹介していますので、ぜひご覧ください。

<http://chiikijunkan.env.go.jp/deau/kigyolist/>

気になる事業者があれば事務局までお気軽にご相談・問合せください！

(3) 【実践地域等登録制度】【企業等登録制度】登録情報更新の受付

ご登録及びウェブサイト掲載がされてから情報の更新が必要でしたら、事務局あてにご連絡ください。

その際には、申請時にご提出いただいた様式の該当箇所を修正した書類のご提出をお願いいたします。変更した箇所が分かるようにしていただけると幸いです。

【登録制度事務局】E-mail : touroku@chiikijunkan.jp (担当 : 小池、那花)

=====

■ 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業) の公募について

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）の執行団体である一般財団法人環境イノベーション情報機構が、当該補助金の公募を開始しますので、お知らせします。

「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」は、地域防災計画により災害時に避難施設等として位置付けられた公共施設に、平時の温室効果ガス排出抑制に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮が可能となり、災害時の事業継続性の向上に寄与する再生可能エネルギー設備等の導入を支援するものです。

<http://www.env.go.jp/press/110257.html>

【対象事業】

- 1号事業：地域レジリエンス・脱炭素化自立分散型エネルギー設備等導入推進事業
- 2号事業：地域レジリエンス・脱炭素化自立分散型エネルギー設備等導入事業化調査・計画策定事業

【応募実施期間】令和3年11月29日（月）～令和4年1月28日（金）17時必着

※1号事業は令和4年9月30日（金）までに事業完了（検収・支払い）する申請のみとなります。

※2号事業の公募は行いません。

【応募方法】

応募方法の詳細は、一般財団法人環境イノベーション情報機構のホームページを御覧ください。

<https://www.eic.or.jp/eic/>

【問合せ先】

一般財団法人環境イノベーション情報機構

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町38 鳥本鋼業ビル3階

E-mail : bousai@jigyo.eic.or.jp

電話 03-5209-7104

※ お問合せの際には原則電子メールを利用し、法人名又は団体名及び事業名をメール件名に御記入ください。

=====

■2021年度 第2回ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」の開催について

地球環境問題として、脱炭素社会の実現や生物多様性の保全とともに、SDGsのゴール6である「水」についても、企業活動との関係に対する市民や投資家の関心がかつてないほど高

まっています。

環境省では、民間企業等が「水」に関する互いのグッドプラクティスを共有し、それぞれの取組をブラッシュアップする場として、平成31年4月に「グッドプラクティス塾」を始動し、継続的に活動しています。

2021年度の第2回目のグッドプラクティス塾では、アクアスフィア・水教育研究所の本淳司氏をお招きし、企業活動にとっての水リスクやその対応等について御講演いただきます。また、企業からの事例発表として、株式会社クボタと日本電気株式会社(NEC)から、水リスクの把握と対応策の検討・実施の取組について御紹介いただきます。

【日時】 令和3年12月24日(金) 13:30~15:00

【場所】 オンライン方式 (Zoom ウェビナー使用)

【プログラム】

- ・主催者挨拶 環境省
- ・講演 企業活動と水リスク (25分)

橋本 淳司氏 アクアスフィア・水教育研究所

- ・事例発表 (30分)

株式会社クボタ

日本電気株式会社 (NEC)

- ・質疑応答・意見交換 (30分)

【申込・詳細】 詳細等は下記 URL をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/110265.html>

=====

■連続セミナー<第3回> 国・金融機関による地方創生の取組

地域循環共生圏の創造に向けては、「協働」をさらに前進させ、共に新たな価値をつくり出す「共創」が求められています。本連続セミナーでは、様々な主体から協働事例や先進的取組を紹介いただき、「共創」のヒントを共有します。

第3回セミナーでは、国・金融機関による地方創生の取組を共有します。近畿財務局、近畿経済産業局から地域活性化やエコシステム形成を支援する取組、金融機関から地域づくりにおける多様な主体との協働/共創の取組をご紹介します。ぜひご参加ください！

【日時】 令和4年1月27日(木) 14:00~15:50

【場所】 オンラインによる開催 (CiscoWebex)

【参加費】 無料

【対象者】 自治体、企業、金融機関、NPO、民間団体、大学等でまちづくりや地域の課題解

決に取り組まれている方々。

【定員】100名（要申込 ※定員に達した時点で締め切ります）

【主催】環境省近畿地方環境事務所、きんき環境館

【詳細】申込等詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.kankyokan.jp/info-2021-11-1/>

★11月に開催した第1回・第2回セミナーの録画動画を、きんき環境館 YouTube チャンネルにて期間限定で配信しています。そちらもぜひご覧ください！

○第1回セミナー（11月17日開催） 新しいまちづくり！「協働」→「共創」のヒント

<https://youtu.be/N03u6DRzdzI>

○第2回セミナー（11月29日開催） SDGs 未来都市に学ぶ「共創」

<https://youtu.be/P-p0XZkK7eQ>

=====
※配信先の追加・変更・配信停止・その他本メルマガに関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

=====
発行：地域循環共生圏メールマガジン事務局

touroku@chiikijunkan.jp

環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム HP

<http://chiikijunkan.env.go.jp/>

環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム Facebook ページ

<https://www.facebook.com/LocalSDGsplatform.env/>

=====